



<楽器の使い方>

1. 到着後、この黒い筒を矢印先の金色の筒に差します。
2. 空気を吹き込みながら、短いドロン管の音だけを先端の穴を指でふさいで止める。
3. 短いドロン管の音は、一瞬だけ指で穴をふさぐと止まると思います。
4. 難しい場合、短いドロン管の先端に事前にセロテープを貼ってから、吹き込む。
5. 長いドロン管の黒い筒を上下し、ドロン音をチャンター音の低いAに合わせて調律。
6. 短いドロン管の音も出し（セロテープの場合外して）、ドロン管2本の音を合わせて調律。
7. 終わったら、この筒を外して保管ください。

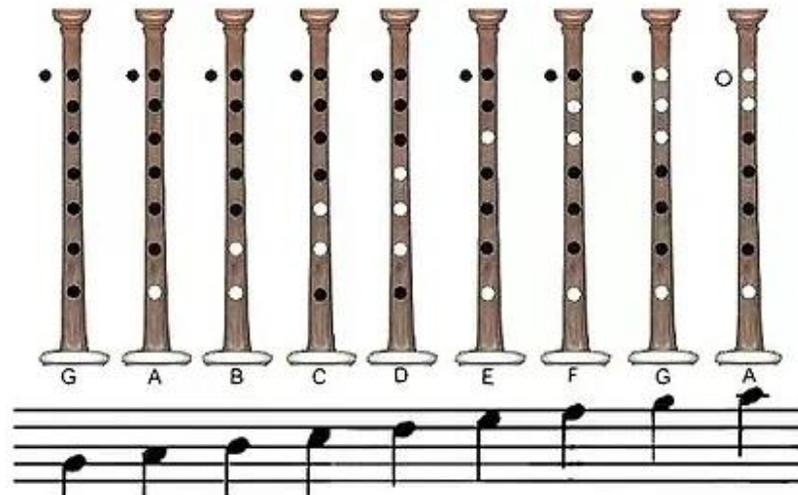


<演奏を楽にする方法>

- 短いドロン管の先端をセロテープなどでふさぐ。
- 短いドロン管に空気が流れないので、吹きやすくなります。
- 長いドロン管だけを鳴らして黒い筒を上下し、ドロン音をチャンター音の低いAに合わせて調律。

バグパイプの運指

バグパイプの練習は、まずプラクティス・チャンター（練習用チャンター）を使って始めます。
バグパイプの演奏中は楽譜を見ることはできませんので、プラクティス・チャンターで曲を覚える必要があります。
原則、LowG（LG）からHiA（HA）まで、9つの音階を奏でます。これは、バグパイプ本体も同じです。
指穴を十分に塞がないと、きれいな音が出ませんので、ご注意ください。



運指のコツ

指を伸ばし、穴を指先ではなく、第一関節から第二関節の辺りで押さえるといいです。
運指はリコーダーに似ていてシンプルですので、単独で練習できると思います。
装飾音まで入れることを目指す場合、教則本で学ぶか、経験者に教わることをお勧めします。